



第6期宮前区区民会議 第3回地域活性部会（仮称）

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成28年10月27日（月）18:00

宮前区役所4階第1会議室

次 第

1 議事

- (1) これまでの地域活性部会の審議経過確認
- (2) 先進事例等の検討

2 その他の連絡事項

今後の日程について

第4回地域福祉部会 12月2日（金）18時 会場：第1会議室

配布資料目次

- 資料1 委員名簿
- 資料2 第6期スケジュール案
- 資料3 これまでの審議経過
- 資料4 小泉農園のわがままいちご
- 資料5 南池袋公園カフェ
- 資料6 隅田公園オープンカフェ
- 資料7 川崎異業種交流会
- 資料8 高津さんの市チラシ
- 資料9 大磯全体を市にしよう！

第6期宮前区区民会議 委員名簿

資料1

氏名	新任／再任	役職	所属部会	分野・団体名
カワダ カズコ 川田 和子	再	委員長		①防災・地域交通 宮前区自主防災組織連絡協議会
アオヤギ カズミ 青柳 和美	再	副委員長	地域福祉部会	区長推薦
オイカド トシコ 老門 聰子	新			③子育て・教育 宮前区こども・子育てネットワーク会議
ナカザト フミオ 中里 文雄	再	部会長		③子育て・教育 宮前区民生委員・児童委員協議会
ツバキ マサミ 樺 雅美	新			③子育て・教育 宮前区地域教育会議
スナガワ テツオ 砂川 徹夫	新			⑤産業・まちの活力 宮前区商店街連合会
ナカムラ フサヨ 中村 布佐子	新			⑥文化・観光 宮前区文化協会
タキモト クミ 滝本 久美	再			⑧地域特性 みやまえ情報ラボ
オオクボ マサカツ 大久保 正克	新			公募
カサイ イクコ 葛西 育子	再			区長推薦
オダ イクコ 小田 育子	再			区長推薦
カゲヤマ イシロウ 影山 亥史郎	新	副委員長	地域活性部会	④自然・生活環境 グリーンフォーラム21みやまえ世話人会
オイカド タイソウ 老門 泰三	新			②福祉・健康 社会福祉法人宮前区社会福祉協議会
オオキ ジロウ 大木 次郎	再			②福祉・健康 宮前区スポーツ推進委員会
ヤマダ カツラ 山田 桂	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（宮前地区）
クロサワ カツミ 黒澤 克實	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（向丘地区）
タナベ ヨウイチロウ 田辺 洋一郎	再			⑧地域特性 宮前区まちづくり協議会
ヤマベ キヨミ 山部 清美	新			公募
アラカワ ヨウコ 荒川 洋子	新			公募
サトウ タカフサ 佐藤 貴房	新	部会長		公募

第6期宮前区区民会議の進行イメージ

資料 2

年度	月	進行の目安	全体会・部会等の開催	備考
28	4		4/20 事前打ち合わせ会	
	5	地域課題の検討 テーマ分野・分類の絞り込み	5/20 第1回全体会	委嘱状交付 各委員から課題発表
	6		6/13 第1回準備部会	委員からテーマ出し
	7		7/14 第2回準備部会	専門部会構成案作成
	8	専門部会発足 (仮称)で始動 各テーマの現状 調査、目指すべき姿、理想像の 確認	8/4 第2回全体会	専門部会立上げ
	8		8/29 地域福祉部会① 8/30 地域活性部会①	部会テーマの更なる 絞り込み
	9		9/16 地域福祉部会② 9/9 地域活性部会②	
	9		9/30 企画部会(1)	
	10	解決すべき課題 の洗い出し、先進事例のリサーチなど	10/6 第3回全体会	
	10		10/24 地域福祉部会③ 10/27 地域活性部会③	
	11		11/28 地域福祉部会④ 12/2 地域活性部会④	先進事例・現地視察等
	12		12/22 企画部会(2)	
1	フォーラムの企画・準備など	1/13 第4回全体会		
2		2/1 地域福祉部会⑤ 2/3 地域活性部会⑤	2/6 区民会議交流会	
		2/24 企画部会(3)		
		3月中旬頃 区民会議フォーラム		
29	4	課題解決に資する取組提案の検討	地域福祉部会⑥ 地域活性部会⑥	
	4		地域福祉部会⑦ 地域活性部会⑦	
	5		企画部会(4)	
	6		第5回全体会	
	7	地域福祉部会⑧ 地域活性部会⑧		
	8	地域福祉部会⑨ 地域活性部会⑨		
	8	取組提案の試行と検証など	企画部会(5)	
	9		第6回全体会	
	10		地域福祉部会⑩ 地域活性部会⑩	
	11		企画部会(6)	
	12		第7回全体会	
	12		区長への提案	
1	第6期の総括	企画部会(7)		
2	フォーラムの企画・準備	第8回全体会		
2		企画部会(8)		
3		区民会議フォーラム		

審議経過報告

(仮称) 地域活性部会

- 8/29 (月) | 第1回部会
部会長互選 (佐藤部会長)
審議テーマの検討
- 9/9 (金) | 第2回部会
審議テーマの検討



専門部会 B

(仮称) 地域活性 部会

ハード、インフラ (都市基盤)、目的、情報、市民活動支援

審議対象テーマの例



部会メンバー：荒川委員、老門泰委員、大木委員、影山委員、黒澤委員、佐藤委員、田辺委員、山田委員、山部委員 (9名)

第1回会議の話題・キーワード



第2回会議の話題①

人と人の繋がり強化による地域活性
ターゲット=地域で商売している人

つながり・出会い①
商売している人同士

- コラボ
- ビジネスチャンス
- 地域雇用
- 賑わい

つながり・出会い②
商売している人と区民

- 生活の中で交流
- 宮前産ブランド化
- 体験・交流
- 魅力の認知・発信

若い人を核に。新たな層の取り込み

第2回会議の話題②

生活者視点の重視・暮らしの中で

“市”の創出

- 多ジャンル混合
- 「収益」「出会い」
- 地域レベルで展開

“農”を身近に

- 農の体験・交流
- 宮前産のブランド化

公園

カフェ

農地

空き家・店舗



第2回会議の話題③

運営の自立採算を目指す

- 無償ボランティアに頼らない
- 担い手に一定の報酬...やりがいづくり
- より継続性のある体制づくり

有償ボランティア、ボランティアポイント制
会費制、ファンドの活用、地域通貨



住みやすい宮前区 日常的なつながり

コミュニティ活性化 産業振興

産地・銘柄を超えた、農作物のブランド化——小泉農園「わがままいちご」

100万社のマーケティング 編集部 2015.06.02 掲載

産地や銘柄ではない、一次製品の新しい評価基準をつくった農家。
OEM生産が中心の経営から転換し、自社ブランドを立ち上げたメーカー。
それぞれのやり方で、新しいブランドをつくり、新しい販路を開拓した企業の事例を紹介します。

3代続く農家の新しい試み



川崎市宮前区にある小泉農園のビニルハウス。高設栽培のいちごがずらり。

再開発が進む二子玉川や多摩プラーザといった、近年注目を集める街にほど近い、神奈川県川崎市宮前区。小泉農園は、この地で200年間・3代にわたって続く、都市型の野菜農家だ。トマトやレタス、カブ、コマツナとさまざまな野菜を露地栽培でつくり、川崎北部市場、生活クラブ生協（神奈川）のほか、地元の小売店や飲食店に供給してきた。

そんな小泉農園の3代目・博司さんは、東京農業大学を卒業後、飲料メーカーの営業部員として2年間勤めたのち、2002年、26歳のときに就農。同農園で初めていちごの施設栽培をスタートした。これが現在、「わがままいちご」の名前でメディアにたびたび取り上げられる、同農園の“ブランドいちご”栽培の始まりだった。「祖父や父と同じ場所で同じことをやっても面白くない。今までとは違うもの、それも値段が高くて嫌いな人がいない野菜がないかと探して、思い至ったのがいちごでした。いまではすっかり主流になった高設栽培技術が出てきたタイミングで、従来の手法よりも栽培がしやすい環境も整い始めていたので、試してみようと思ったのです」。



試験栽培で収穫したいちごを、妻の元職場である千疋屋の上司や同僚に食べてもらったところ、おいしいと評判に。これはいけると確信し、2003年から直売を開始した。今年で12年目。生産規模を徐々に拡大し、現在、同農園では露地栽培の野菜と施設栽培のいちごを、およそ半々の割合で生産している。

「わがままいちご」は、いちごの品種名ではない。品種で言えば「とちおとめ」「章姫」が獲れる小泉農園のいちごを「わがままいちご」と総称し、販売しているのだ。「暑い／寒い」「水が飲みたい」「病気になった」「草をむしれ」……こうした“わがまま”を15カ月間、毎日一つひとつ聞き続け、ようやく赤く甘く実るいちご。低農業栽培を心がけ、最先端の農業技術を用いながら手間をかけて育てていることから、こう名付けた。

「いちごの産地といえば、静岡や栃木をイメージする人が多いはず。川崎でいちごと言われても何だかピンと来ないだろうし、どうしたら多くの人に知ってもらえるか、『欲しい』と思ってもらえるかと思案していました。そんな中、知り合いのデザイナーが『ブランド名を付ければいいんじゃない?』とアイデアをくれたのです」。

「わがままいちご」の名を掲げたところ、地元の子もたちが興味を示してくれたほか、わがままいちごを求めて、県内外から多くの人が農園に来てくれるようになった。そのため、直売に加えていちご狩りもスタート。土日は家族連れ、平日はママ友同士の来園が多いと言い、取材当日は午前中のみ営業で60～70人が来場していた。さらに、現在はインターネットでの直販も行っている。

>>

次ページ「ギフト需要を開拓」へ続く

「100万社のマーケティング Vol.3」発売

[詳細はこちら](#) ▶

ギフト需要を開拓

わがままいちごの販売期間は、毎年12月中旬から3月中旬。いちご狩りは3月上旬から5月中旬まで実施している。農園直売や朝市、ファーマーズマーケット、スーパーマーケットなど多数のチャネルで販売しているが、現在ではオンラインでの注文が圧倒的に多く、しかもギフト需要がほとんどだという。

「12月はクリスマスやお歳暮、1月はお年賀や成人祝い、2月はバレンタインデー、3月はホワイトデー。ギフトとして贈るのに、『わがままいちご』は特別感があって喜ばれます。ギフトは、贈られた人が次のお客さまになってくださる可能性が高く、効率よくファンを増やしていくことができるので、積極的に展開していきたいと考えていました」と博司さん。ネット販売のスタートに合わせて制作した、ブランドロゴやギフトボックスも、ギフト需要の向上に一役買った。手掛けたのは、ブランド化のアイデアをくれたデザイナーだ。

「最初のうちは、『かわいいから、箱だけ欲しい』と言う人もいたくらい（笑）。クリエイティブの力を感しました」。



ハーブ製品の加工所を活用して、わがままいちごの加工品づくりにも取り組む。

「100万社のマーケティング Vol.3」発売

[詳細はこちら ▶](#)



新・公民連携最前線



レポート

▶ 記事一覧

都心の繁華街に芝生広場が出現、カフェ併設の南池袋公園

山田 雅子=ライター、黒田 陸明

【2016.4.22】

豊島区立南池袋公園が、4月2日にリニューアルオープンした。2009年9月から東京電力地下変電所工事のために閉鎖され、2015年4月から一部開園していたが、このほど全面開園にこぎつけた。

中心に芝生広場を配し、地元・池袋で人気の飲食店「RACINES(ラシーヌ)」などを手掛けるグリップセカンド(東京都豊島区)が、オープンスタイルのカフェ・レストラン「Racines FARM to PARK(ラシーヌ ファーム トゥー パーク)」を出店した。応募5社の中から選ばれた。



南池袋公園全景。池袋の繁華街にぽっかりと芝生広場が出現した(写真:編集部)

[画像のクリックで拡大表示]

そのほか、小山から滑り降りる滑り台やシーソー、回転遊具など、親子連れが楽しめる遊具などを配置したり、豊島区が提供する無料公衆無線LAN「TOSHIMA Free Wi-Fi」が使えるようにしたりと、親子連れやビジネスパーソンなど様々な人たちに気軽に立ち寄ってもらうための機能を持たせている。開園時間は8時から22時まで。



カフェ・レストラン「Racines FARM to PARK」。2階は普段はブックカフェで、イベントスペースとしても使用する(写真:編集部)

[画像のクリックで拡大表示]



小山から滑り降りる滑り台は子どもに大人気だ（写真：編集部）
[画像のクリックで拡大表示]

南池袋公園は、池袋駅東口から徒歩5分の場所にある。面積は7811.5m²。まちなかの空間にリビングの居心地を目指して整備したという同公園は、豊かな緑が特徴だ。季節に合わせた品種を育てることで一年中青々としている芝生広場のほか、園内には、区内の駒込が発祥のソメイヨシノなど約2500本の草木が植えられている。

リニューアル計画の総合プロデュースは、豊島区役所新庁舎（[関連記事](#)）のランドスケープなどを手掛けたランドスケープ・プラス（東京都文京区）が担当した。

売上げの一部を地域還元

今回のリニューアルオープンの目玉の一つが「Racines FARM to PARK」の参入で、生産者と消費者の「食を介するつながりの場」を目指した店づくりをしている。メニューはテイクアウトもでき、公園内で食べるのに適したピクニックセットも販売する。公園の芝生で来園者がピクニック的な楽しみ方をするという想定だという。2階はブックカフェとなっており、出店者が地域貢献活動として毎月イベントを開催する。区は「レストラン事業者、および周辺地域の方々や官民協働での管理を目指す」とコメントしている。



地元商店街では、公園のオープンと、公園で開催する商店街主催イベントを知らせるバナーを掲出していた（写真：編集部）
[画像のクリックで拡大表示]



今は養生中のため、芝生広場には入れない。芝の生育状況を見て7月には開放する予定だ。今後は、夏芝と冬芝の切り替え時にそれぞれ1カ月、年間2カ月程度を養生期間にあてる（写真：編集部）

[画像のクリックで拡大表示]



別角度から見た全景。右手に見える高層ビルは、分譲マンションと合築して話題となった豊島区役所（写真：編集部）

[画像のクリックで拡大表示]



屋外テラス側から見た全景（写真：編集部）

[画像のクリックで拡大表示]



「Racines FARM to PARK」のチラシ。店舗ではオリジナルのクラフトビールなどアルコール飲料も提供する

[画像のクリックで拡大表示]

カフェ・レストランは、都市公園法第5条第2項第2号に基づく公園の設置等許可を受け、「当該公園管理者以外の者が設け、又は管理することが当該都市公園の機能の増進に資する」施設として出店した。許可面積は227.34m²で期間は10年だ。豊島区が建てたRC造2階建ての建物の指定部分に、出店者が内装・設備工事をして店舗を運営する。使用料は固定分として月坪1万5000円、歩合分として25万円/月坪超過分について売り上げの10%と設定。また、出店者は売り上げの0.5%を地域に還元するほか、災害時の帰宅困難者対策に協力する。豊島区の公園管理運営費は年間2500万円（2016年度予算）である。

この記事のURL <http://www.nikkeibp.co.jp/ppp/atcl/tk/15/433782/042100313/>

更新日:2014年2月26日

隅田公園オープンカフェ



事例名	隅田公園オープンカフェ
地域	東京都台東区
実施主体	文化産業観光部観光課
分野	観光振興・交流

観光振興・交流

活動事例

概要

河川占用許可準則の改正を受け、隅田川の河川敷地に東京都の管理河川としては初となるオープンカフェを設置した。建物の設置及び運営は民間事業者が行うことで、区の経費負担を減らし、さらに地域還元費として売り上げの一部を地域団体が、徴収し地域活性化に活用する予定となっている。

内容

【取組に至る背景・目的】

東京スカイツリーを臨む絶好のビューポイントである隅田公園内の河川区域に、河川敷地占用許可準則の改正による「都市・地域再生」のための施設として水辺空間を活用したオープンカフェを開設し、一年を通じて継続的な賑わいを創出することで、浅草を訪れる観光客と地域住民の憩いの場とするとともに、まちの活性化を図る。

【取組の具体的内容】

利用者のニーズ調査を行うためのオープンカフェモデル事業の実施。学識経験者、地元団体代表、地域住民、行政(東京都、台東区)により構成する「隅田公園オープンカフェ協議会」を設置し、「都市・地域再生等利用区域指定要望書(利用計画書)」及び「隅田公園オープンカフェ出店者募集要項」の内容を検討。要項に基づき出店事業者を公募し、選定委員会で審査を行い、審査結果をもとに区が出店事業者を決定。決定後は、出店事業者と調整しながら諸手続きを行い、平成25年10月に2店舗がオープンした。

【現在までの実績・成果】

今秋開業したばかりであり、また季節的な問題もあるため、現在のところ店舗運営を軌道に乗せることが最優先であり、地域全体の活性化までは至っていない。しかし、地元住民の利用が想定より多いことから、地域に根ざした店舗づくりを進めているところである。

出典

広報たいとう

隅田公園オープンカフェ

更新：2015年12月3日

隅田公園オープンカフェは、都内初の民間事業者による河川敷地を利用したオープンカフェとして、平成25年10月に2店舗がオープンしました。隅田公園オープンカフェ事業は、河川空間の規制緩和に伴う「河川敷地占用許可準則」の改正によって実現したもので、隅田川の水辺とその周辺地域に恒常的な賑わいを創出し、地域の活性化を図ることを目的としています。地元住民が参加した隅田公園オープンカフェ協議会により、計画段階から地域の合意形成を図りながら進められ、東京都が推進する隅田川リネサンス※の取組みの一つにも位置付けられています。

店舗概要

[店舗概要（台東区公式観光情報サイトへリンクします）](#)（外部サイト）



地域活性化への取組み

隅田公園オープンカフェは、隅田川の水辺とその周辺地域に恒常的な賑わいを創出し、地域の活性化を図るために、実行組織の「隅田公園オープンカフェ運営連絡会」により、地元の方々を中心として活動を行っています。

平成26年度主な実績

「隅田川絶景niteカルチャー候」実施

1 イベント

- (1) 川ライブの開催
- (2) カフェライブの開催
- (3) カフェワークショップの開催
- (4) 隅田川マーケットの開催

2 実施期間

平成26年11月23日から平成27年3月14日

3 会場

台東区立隅田公園、隅田川右岸親水テラス、タリーズコーヒー隅田公園店、Cafe W.E

4 主催

隅田川絶景niteカルチャー候実行委員会・東京都

後援

台東区、隅田川リネサンス推進協議会

※本事業は東京都の「地域資源発掘型実証プログラム事業」の取組みの一環として、東京都の受託事業者が実施しました。



平成27年度主な実績

「スマカル2015 絶景ビアテラス」実施

1 イベント

各回のテーマに沿ったビールやおつまみを取り揃えたカフェイベントや、隅田公園及び親水テラスを活用したライブ、演劇、フェスなどを開催。

2 実施期間

平成27年8月14日～9月27日

3 会場

台東区立隅田公園、隅田川右岸親水テラス、タリーズコーヒー隅田公園店、Cafe W.E

4 主催

隅田公園オープンカフェ運営連絡会/隅田公園オープンカフェ出店者会

後援

台東区、隅田川リネサンス推進協議会



お問い合わせ

観光課

電話：03-5246-1151

独立開業TOP > 起業・独立開業の人脈がどんどん広がる! 交流会レポート > 川崎異業種交流会(神奈川県)
起業・独立開業の人脈がどんどん広がる! 交流会レポート

人脈がどんどん広がる! 交流会レポート

構成 増田紀彦 取材・文 鈴木一生 撮影 利部友康

川崎異業種交流会(神奈川県)

女性参加者無料! 川崎駅前、武蔵小杉、溝の口で月1、2回開催中

人生の可能性を広げてほしいから、
誰もが気軽に参加できるよう工夫



異業種交流会の空白地帯? 川崎市市内3カ所で開催

川崎異業種交流会の代表・高松大さんの仕事は、「海の司法書士」ともいわれている海事代理士と行政書士。東日本大震災で被災した東北地方で、船舶や免許証をなくした漁業関係者たちのために、無償で事務手続きを引き受ける懐の深い人物だ。その高松さんは2010年から川崎市内の3カ所(川崎駅前、武蔵小杉、溝の口)で異業種交流会を主宰している。

5、6年前から異業種交流会に参加するようになり、人が集まることに何よりも魅力を感じていたという高松さん。人脈という宝物を多くの人と共有したい。そう考えて積極的に異業種交流会に参加してきた。

「異業種交流会は継続して参加しなければ、「これは」という人と会うことは難しいと思います。川崎市内で異業種交流会を開催することにより、川崎市で事業をする方々と、川崎市の方とのコネクションが欲しいと思っている方々の可能性も上げることができる。また、私自身にも大きなチャンスがあると思っています。そこに異業種交流の大きな魅力を感じています」

ところが私の地元の川崎には異業種交流会がありそうで、実はなかなかないのです。特に川崎駅前には、開催されたと思えば撤退というケースの繰り返し。私自身が川崎の生まれなので、ぜひ地元を盛り上げたいという気持ちもあり、自らが開催することを決めました。初めて開催したのは2010年の11月。場所は 事務所に近い溝の口でした。その後、発展著しい武蔵小杉でも開催。その頃から『川崎駅前でも開いてほしい』という声が多く聞かれるようになり、そこで今回、初の川崎駅前開催となりました」

女性に可能性を広げるチャンスをつかんでほしい

初回の開催に先立って参加者を集めるために、高松さんは数多くの異業種交流会に参加。500枚の名刺を20日間で使い切ったという。手間ひまかけて集めた参加者をもてなすために、様々な工夫もこらしている。参加者が自分の会ってみたい人をピンポイントで見つけられるように、名簿に番号と名前、業種、仕事内容を一覧にして配布。番号の入った名刺で相手がわかるようにしている。話し相手が見つからずに孤立している人がいれば、すぐに高松さんがフォロー。ほかの参加者を紹介して間を取り持つといった配慮も。

「女性の参加料金を無料にしているのも大きな特徴です。女性の場合、知らない男性に交ざって話をするのは気が引けるという人が少なくありません。でも、もっと女性が外で交流をして、自分の可能性が広がるチャンスをつかんでほしい。だから、異業種交流会は初めてという女性でも参加しやすいように無料にしました。女性比率は4割ほど。かなり高いほうだと思います」

イベントやセミナーを開くこともある。マジシャンをゲストに招いた会では、そこで覚えたマジックを取引先に披露して、仕事につなげたという参加者もいた。また各種の国家資格を持つ人々を集めた「サムライ交流会」や「開業セミナー兼交流会」も開催している。今後もそうしたイベントやセミナーの開催にチャレンジしていく方針だという。

「おかげさまで、初参加の方々から『楽しかった』『来て良かった』という声を多くいただきます。また『会を通じて新しい契約ができた』『出会いを通じて仕事の幅が広がった』と喜んでくれる方もい



「ネットに頼らず、自ら声をかけて参加者を集めることも大切」と、高松さん



代表
高松 大さん

19歳で独立開業。輸入販売業など様々な業種を経験して、成功と挫折を繰り返しながら、海事代理士と行政書士の資格を取得。現在は高松海事法律事務所の経営のかたわら、NPO法人日本マリクラブ代表理事も務める。そのほか小型船舶免許の講習講師・身体検査員としても活躍している。

参加者のコメント

プロボクサー
川端達郎さん



「志堅用高のジムに所属しています。普段、「ビジネス関係の方に接する機会がありません。そこで、ブログで意気投合した高松さんが開催する会だということで、杉並区から足を運んでいます。職種や業種を超えて会話が盛り上がるのが素晴らしいですね。自分の得意なことやチャンピオンになる夢を実現したいのは、ボクサーも起業家も同じ。腹をくくって挑戦する仲間をこの会で増やしたいです。」



イラストレーター
川口雅美さん

大阪で仕事をしていたが結婚を機に横浜へ、仕事の足がかりをつくるために参加しています。この会は女性が無料で参加しやすく、主宰者の高松さんがフォローしてくれるので、アウェイな感じにならない点がいいですね。同世代の女性起業家も多数参加していて交流が広がっています。これから起業という方も多く、そうした方々のお手伝いしながら信頼関係を深めていこうと思います。

ます。そういう声を聞けることは私にとっても喜びです。これから来場される皆さんの可能性を広げるお手伝いを一生懸命していこうと思います」

ホームページ教済センタ

鳥居塚 誠さん



ネットショップのコンサルティングを行っています。お客さまはホームページがcaもし出す人間味を感じ取ってショップを選んでいきます。ですから私たち制作者も生身の人間との交流を重んじることがとても大事なのです。そこでこの会への参加を通じて、人とかかわる機会を広げています。いろんな業界の方と接するとコピーを書くヒントにもなります。川崎の地元色が強いのもこの会の魅力ですね。



フードコーディネーター
菊入なかよさん

1年前に独立し、自宅で料理教室を開催しています。地元で料理以外のジャンルの方と出会って交流を広げたいと考えたのが参加のキッカケです。私自身は自分から話しかけるのが苦手ですが、それでもこの会では最後まで話が盛り上がるので、参加していて楽しいです。また、サイトの見せ方へのアドバイスや、料理教室用のエプロンを提案してくれる方々もいて、仕事にも大いに役立っています。

[2011.06.24]

この記事の感想をお聞かせください。
(グレーのツマミを動かして[1]~[5]で評価してください)

[ページの先頭へ](#)

独立開業をサポートする情報が満載 | [独立・開業・起業・フランチャイズならアントレnet](#)

[独立、開業、起業TOP](#) | [フランチャイズ\(FG\)募集](#) | [商材&事業支援募集](#) | [代理店募集](#) | [業務委託募集](#) | [社員to独立募集](#)
[オーナーになる/お店を運営する](#) | [商品・サービスの営業・販売をする](#) | [「手に職」で稼ぐ](#) | [ノウハウを学ぶ](#) | [開業支援サービスを利用する](#)

RECRUIT (C) Recruit Career Co.,Ltd.
[リクルートグループサイトへ](#)

[広告掲載はこちら](#) | [プライバシーポリシー](#) | [会員規約](#) | [お問い合わせ](#) | [ご利用にあたって](#)

読み込み中です
チャットが混雑しています
担当者が離席しています

過去のメッセージを読み込む 読み込み中

メッセージを入力

[Flipdesk利用ガイドをご確認ください](#)

[お問い合わせ内容をご入力ください](#)

▼ お問い合わせ内容

氏名
Email
電話番号

[お問い合わせフォームはこちら](#)

接続できませんでした

高津 さんの市

地元産・市民参加・SUNDAY 開催

地元を楽しむ暮らし

日曜の朝は高津の採れたて野菜を楽しむ



地元の生産者が直接販売！

高津区のたちばな地区ではバラエティ豊かな野菜が作られています。そこで採れた、隣なのに知らなかった地元野菜、たちばなの農家さんが持って来てくれる、採れたて野菜が買えます。

日時 偶数月の第3日曜日 各回9時半～12時

2016年

4/17 日

2016年

6/19 日

※この日は、JR 武蔵溝ノ口駅南北自由通路開催

2016年

8/21 日

2016年

10/16 日

2016年

12/18 日

2017年

2/19 日

地元野菜を使った
加工品の出店も
ありますよ！

場所

久本薬医門公園

駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
開催場所は、変更になる場合があります。



“さんの市サポーター” 随時募集中



ブログ、facebook でたちばな「農」（緑農、ファーマーズマーケットなど）の情報を掲載中！

<http://tachibstyle.jugem.jp/>

たちばなスタイル 検索

雨天時の対応については、
その都度こちらに掲載致します。

QR コードは▶



●主催● 「たちばな農のあるまちづくり」 推進会議・川崎市高津区役所

●連絡先● 「たちばな農のあるまちづくり」 推進会議事務局 高津区役所地域振興課内 TEL：044-861-3133



農家さんの畑を訪ねて農作業をサポートする「緑農（えんのう）」。
参加ご希望の方は、件名に「緑農メールマガジン」希望と書いて、
メールにてお申し込みください。
宛先▶ NPO 法人 ぐらす・かわさき tachib@grassk.org



たちばな野菜を中心とした地産地消の
農と食の地域交流拠点です。

<http://mesa-grande.blogspot.jp/>



大磯はかつて別荘地として栄えたまちです。
山と海に挟まれた小さな港町です。
しかし別荘地時代の面影は徐々に消えつつあり、
高齢化とともに商店の数も減り商業も衰退しています。
商業だけでなく漁業、農業も衰退しています。



今ある大磯の良さを残し若い世代も活躍できる活気ある大磯に、
そんな想いで、2010年9月から大磯市をはじめました。

毎月第3日曜日のミナトをチャレンジの場として開放し、
マチナカの店舗・ギャラリー・イベント・ワークショップと
連携し、大磯全体を市（いち）にしようと考えています。

このまちでチャレンジをしたいという若い人たちを呼び込む→
大磯でお店をもってもらう→お店が増える事でまちに回遊性が生まれる→町内外からお客さんが増える
→
歩いて暮らせる、ウォーカブルで快適なまちになる→大磯に住みたい人が増える

こんな好循環を作り出すためのエンジンになりたい、と大磯市は考えています。

クラフトやフードなど190店舗前後がミナト（大磯港）に集まる大磯市は、神奈川県下最大の朝市（9～14時開催／7～9
月は17時～20時半開催の夜市に）。今月はどんなお店が出店するのでしょうか。第3日曜日が待ち遠しい！

最新開催情報はFBページをご覧ください。

☆エントリーは「大磯市に出店したい！」からどうぞ。



*** 漁協のさかなの朝市は8時から整理券配布、9時から販売開始です。また、毎週日曜にマチナカで行われている【大磯サンデーアートウォーク】もお楽しみください。**

マナカ散策ツアー

NPO法人大磯ガイドボランティア協会による史跡名所を巡るツアーは、大磯駅から歩きはじめて大磯市でゴール。地元住民も知らない新しい発見がいっぱいです。



大磯新聞

大磯新聞は大磯市から生まれた新しいローカルメディアです。大磯をより楽しむためのイベント情報や文化・ライフスタイル、素敵なお店をご紹介します。



つきやま

つきやまは大磯市から生まれた、出店作家たちで運営されている常設の大磯市セレクトショップです。かつて吉田茂の番記者たちが利用していた月山という飲み屋だった空き家を改装してショップとして利用しています。



大磯市 めっけもん

大磯市で出会った一点もの手作りクラフト、ミナトでしか食べれないおいしいものなど、こんなめっけもんあったよ！情報をハッシュタグ「#大磯市めっけもん」でシェアしましょう。



主催：大磯市実行委員会

<実行委員会 構成メンバー>

- 大磯町漁業協同組合
- 湘南農業協同組合大磯支所
- (公社)大磯町観光協会
- 大磯町商工会
- 大磯港みなとまちづくり協議会
- 大磯逸品の会
- NPO法人大磯だいすき倶楽部
- NPO法人 大磯ガイドボランティア協会
- NPO法人西湘をあそぶ会



大磯市MAP

